

《貸借対照表》

貸借対照表は、当該会計年度末（3月31日）における財産状態（資産、負債、純資産の状況）を表します。

貸 借 対 照 表

平成30年 3月31日

（単位：円）

資 産 の 部				
科 目	平成29年度末	平成28年度末	増	減
固定資産	3,467,742,515	3,554,316,386	△	86,573,871
有形固定資産	3,404,532,575	3,514,405,485	△	109,872,910
土地	815,708,652	815,708,652		0
建物	2,185,287,558	2,261,453,568	△	76,166,010
構築物	26,673,625	27,661,537	△	987,912
教育研究用機器備品	182,085,595	220,529,965	△	38,444,370
管理用機器備品	1,042,629	1,364,350	△	321,721
図書	188,866,848	180,151,281		8,715,567
車両	4,867,668	7,536,132	△	2,668,464
その他の固定資産	63,209,940	39,910,901		23,299,039
電話加入権	2,024,904	2,024,904		0
施設利用権	7,000,000	7,000,000		0
出資金	2,050,000	2,050,000		0
収益事業元入金	52,135,036	28,835,997		23,299,039
流動資産	1,309,621,012	1,373,665,998	△	64,044,986
現金預金	1,225,120,611	1,263,998,226	△	38,877,615
未収入金	81,579,095	106,197,467	△	24,618,372
前払金	2,794,764	3,464,305	△	669,541
立替金	126,542	0		126,542
仮払金	0	6,000	△	6,000
資産の部合計	4,777,363,527	4,927,982,384	△	150,618,857
負 債 の 部				
科 目	平成29年度末	平成28年度末	増	減
固定負債	253,832,493	334,331,757	△	80,499,264
長期借入金	115,417,000	210,661,000	△	95,244,000
長期未払金	16,933,110	17,028,762	△	95,652
退職給与引当金	121,482,383	106,641,995		14,840,388
流動負債	924,749,446	1,006,909,656	△	82,160,210
短期借入金	101,155,000	99,504,000		1,651,000
未払金	111,965,438	160,251,774	△	48,286,336
前受金	680,694,000	726,710,000	△	46,016,000
預り金	30,935,008	20,443,882		10,491,126
負債の部合計	1,178,581,939	1,341,241,413	△	162,659,474
純 資 産 の 部				
基本金	5,486,800,444	5,451,678,204		35,122,240
第1号基本金	5,352,800,444	5,332,678,204		20,122,240
第4号基本金	134,000,000	119,000,000		15,000,000
繰越収支差額	△ 1,888,018,856	△ 1,864,937,233	△	23,081,623
翌年度繰越収支差額	△ 1,888,018,856	△ 1,864,937,233	△	23,081,623
純資産の部合計	3,598,781,588	3,586,740,971		12,040,617
負債および純資産の部合計	4,777,363,527	4,927,982,384	△	150,618,857

I 資産の部

資産の部は、前年度末対比 150,618,857 円減少の 4,777,363,527 円となった。

主な要因は以下のとおりである。

1 固定資産

- (1) 有形固定資産においては、建物当期減価償却額 76,166,010 円の減少があった。

教育研究用機器備品は、当期取得の日本医療大学看護学科 10,449,540 円、日本医療大学診療放射線学科 11,445,300 円であるが、学校法人会計から収益事業会計へ 19,166,893 円の移管および減価償却により前年度末対比円減少の 182,085,595 円であった。

その他の機器備品は、減価償却額による 321,721 円減少により 1,042,629 円であった。

図書は、前年度末対比 8,715,567 円増加の 188,866,848 円であった。

車両は、減価償却額による 2,668,464 円減少により 4,867,668 円であった。

以上により、有形固定資産の部合計は、前年度末対比 109,872,910 円減少の 3,404,532,575 円となった。

- (2) その他の固定資産は、前年度末対比 23,299,039 円増加の 63,209,940 円であった。

主な要因は、収益事業元入金が増加した 23,299,039 円増加したことによる。

この結果、固定資産全体では、前年度末対比 86,573,871 円減少の 3,467,742,515 円となった。

2 流動資産

現金預金は、前年度末対比 38,877,615 円減少の 1,225,120,611 円となった。

未収入金は、前年度末対比 24,618,372 円減少の 81,579,095 円となったが、内訳の主なものとして、社団法人北海道私立専修学校連合会交付金の 53,416,500 円がある。

II 負債の部

負債の部は、前年度末対比 162,659,474 円減少の 1,178,581,939 円となった。主な要因は以下のとおりである。

- (1) 固定負債では、長期借入金が増加した 95,244,000 円、長期未払金が増加した 95,652 円、退職給与引当金が増加した 14,840,388 円となり、前年度末対比 80,499,264 円減少の 253,832,493 円であった。

- (2) 流動負債では、短期借入金が増加した 1,651,000 円、預り金が増加した 10,491,126 円となったが、未払金が増加した 48,286,336 円、前受金が増加した 46,016,000 円となり、前年度末対比 82,160,210 円減少の 924,749,446 円であった。

III 純資産の部

純資産の部では、第 1 号基本金において、建物・土地に係る借入金返済による組入高 38,830,000 円、機器備品に係る未払金支払いによる組入高 8,749,601 円、教育研究用機器備品取得による組入高 4,659,336 円、収益事業会計へ移管による取崩高 19,166,893 円、図書組入高 6,645,889 円などがあり、総額 20,122,240 円増加の 5,352,800,444 円を計上している。

第 4 号基本金は、組入高 15,000,000 円増加の 134,000,000 円を計上している。

以上により、純資産の部合計は、当該会計年度末 3,598,781,588 円となった。